

# STOP！！ コロナ差別

— あなたのその言動が、差別や誹謗中傷に繋がるかもしれません！ —

新型コロナウイルス感染症について、SNSなどで患者個人の特定につながる内容の掲載や誹謗中傷、個人のプライバシーに関する情報の無断掲示、風評被害が懸念されるような情報の拡散などの行為が見受けられます。これらの行為は人権侵害で、決して許されるものではありません。

## 1 こんなことが差別につながります！

- 誰が感染したのか公式報道以外の情報を探す(検索する)
- 誰が感染したのか SNS などに書き込む
- 憶測や推測で感染に至るまでの経緯などをウワサする

※ これらの行為はデマの発生要因となり、患者等への人権侵害につながります。

## 2 なぜデマ(誹謗中傷・不当な個人情報の開示)が問題なのでしょう？

デマの拡散は感染症に対する人々の不安を煽り、感染拡大防止の妨げにもなります。

### 感染者への差別・誹謗中傷

→ 感染者が感染したことを表明できなくなる / 医療従事者等の離職等の懸念

→ 感染の更なる拡大 / 医療崩壊の危険

→ すべての人にとって憂慮すべき、更なる深刻な状況の発生

また、如何なる理由があろうと誹謗中傷や不当な個人情報の開示は犯罪です！

## 3 こんなことに気をつけよう！

○ **どんな人でも感染します。**

そもそも新型コロナウイルス感染は、風邪やインフルエンザと同じように、

どれだけ気を付けていても、完全に防げるものではないことを正しく理解しましょう。

現在の状況では、いつ、だれが、どこで感染するかわかりません！

## ○ 情報リテラシーを身に付けよう！

不確かな情報に惑わされることのないよう、正しい情報に基づいた冷静な行動が求められます。SNSの情報は憶測や推測に基づいた根も葉もないものも多く見られます。特にSNSは発信源や根拠を必ず確認しましょう。

## ○ 感染防止の徹底！

- ① マスク着用
- ② 手洗い・うがい・消毒
- ③ 三密を避ける行動
- ④ 日頃の体調管理

少しの心がけで習慣が変わり、ひとり一人が実施することで「新しい生活様式」が実現できます。  
まずは、感染防止のためにできることをしっかり実行していきましょう！

## ○ ”人のせい”にしない！

悪いのは人ではなくウイルスです。

不安が大きいほど、「誰かのせい」にしたくなるのかもしれませんが、感染した人を責めるのは、どう考えても、甚だしい「お門違い」です！

感染した人を責めても新型コロナウイルス感染状況が好転することなど絶対にないどころか、むしろ、2で述べたようにすべての人にとって、感染の更なる深刻な状況をもたらしかねません！

今、私たちに求められているのは、新型コロナウイルス感染について、誰かに怒りを向けたりすることではなく、ひとり一人が感染防止の高い意識を持って、お互いに感染防止を徹底し、一日も早く感染を終息させることです。